



守ろう高齢者！ STOP住宅火災！

65歳未満
26%

住宅火災
世代別死者数

高齢者
※65歳以上
74%

住宅
56%

建物火災

その他
44%

※統計データ：令和2年～令和6年



出火原因と対策

1位 たばこ

- ・寝たばこは絶対にしない
- ・吸殻はこまめに処分する
- ・吸殻を捨てる時は水で確実に消火する



2位 電気機器・装置

- ・強い衝撃が加わった製品は使用しない
- ・リチウムイオン電池が膨張した製品は使用しない
- ・経年劣化した機器・装置は使用しない



3位 放火（疑い含む）

- ・家の周りに燃えやすい物を置かない
- ・空き家、倉庫、車庫などは必ず施錠する
- ・ゴミ出しは、収集日などルールを守る



4位 コード等の配線類

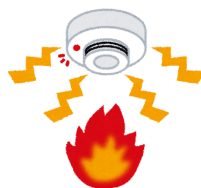
- ・たこ足配線をしない
- ・電気コードを家具の下敷きにしない
- ・傷んだものは使用しない
- ・コンセント周りを定期的に掃除する



※令和7年データ

命を守る対策

命を守る住宅用火災警報器



火災による死者の約8割が
逃げ遅れによるものです。
火災による煙や熱に反応し、
早期に火災を知らせてくれる
住宅用火災警報器を
設置しましょう!!

点検方法

取換えの目安は10年です!
ボタンを押すか、ひもを引き
定期的に点検しましょう!



初期の火災に有効な住宅用消火器



住宅用消火器を設置しましょう!

住宅用消火器を使用するときも
必ず自分の退路を確保しましょう!

【尼崎市消防局公式Instagram】

～知っておくべき
消火器のこと!5選～

SCAN ME!



お問い合わせ先



尼崎市消防局予防課（尼崎市昭和通2丁目6番75号）

TEL：06-6481-3964 FAX：06-6483-5022

E-mail：ama-syou-yobou@city.amagasaki.hyogo.jp



高齢者の安否確認による出動事案が急増しています!!

【室内閉じ込め救助とは...】

65歳以上の高齢者の単身世帯などで「室内で倒れているかもしれない」という安否確認の救助要請が急増しています。日ごろからの備えが重要となりますので、次の対策を心掛けましょう!!

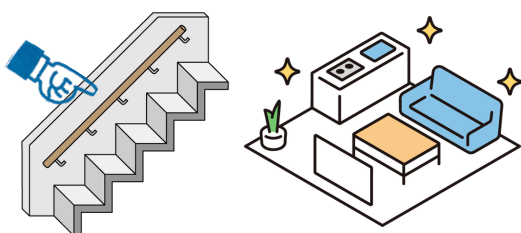
○ 閉じ込め救助を防ぐ4つの対策!!



家族や親戚とこまめに連絡を取り合う



症状が悪化する前に医療機関を受診



自宅の段差の解消や手すりの設置、家具配置の見直しによる転倒防止措置



近隣住民と日常的に繋がりをもつ

詳しくは
尼崎市のホームページまで→



室内閉じ込め救助について
MBS毎日放送で取り上げられました。
その様子は→



お問い合わせ先



尼崎市消防局警防課（尼崎市昭和通2丁目6番75号）
TEL：06-6481-3967 FAX：06-7664-5024
E-mail：ama-syou-bousai@city.amagasaki.hyogo.jp



感震ブレーカーを設置しましょう!

地震による火災の原因の多くは**通電火災**です。

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めるもので、通電火災の防止に有効です!!

感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。 約5〜8万円（標準的なもの）	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。 約2万円	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。 約5,000円〜2万円	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。 3,000円〜4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

※ 住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください

通電火災とは・・・?

地震などの自然災害で発生した停電から復旧して、破損した家電や配線等に再通電することにより出火する火災です。

※ 東日本大震災で発生し、出火原因が判明した108件の火災のうち、**半数以上の58件が電気関係の出火でした**

詳しくは尼崎市HPをご確認ください



感震ブレーカーを設置して電気火災から大切な財産を守ろう!